

全身疾患と歯周病

歯周病は歯周病原因菌による感染とそれに伴う炎症が病気の原因と定義されています。

感染と炎症の病気です。

そして、全身疾患と深い関わり合いがあるとされています。

Q.三大死因と関わっているって本当？

A.ご存知のように、日本人の三大死因は悪性新生物、心疾患、脳血管疾患です。

このうち、**心疾患と脳血管疾患に歯周病、歯周病菌が関わっている**と言われてます。

Q 歯周病と関係が示唆される病気は？

A.心疾患と脳血管疾患以外にも多くの疾患と関わっているとされてます。

1. 糖尿病
2. アルツハイマー型認知症
3. 誤嚥性肺炎
4. ED(勃起不全)
5. 閉塞性血栓血管炎(バージャー病)
6. 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)
7. 早産、低体重児出産 など

歯周病は全身疾患に関わる病気です。

ただ歯が抜ける病気ではなく命に関わる疾患との関連が指摘されています。

- ・歯周病の治療をしないと若い人も脳梗塞になる？

詳しくはこちらから⇒



葛飾区・葛飾区歯科医師会 歯科健診事業一覧

- ・1歳6ヶ月児歯科健診
- ・2歳すくすく歯育て歯科健診
- ・3歳児歯科健診
- ・マタニティ歯科健診
- ・成人歯科健診 (期間・年齢限定)
- ・長寿歯科健診 (期間・年齢限定)

<予防の取り組み>

- ・ファミリー歯みがき教室

国民皆歯科健診の実現へ！ 葛歯連盟は全力で取り組みます

ご存知
ですか？

全ての年齢が網羅される
国民皆歯科健診はその必要性を
政府が提言している事業です
「政府の骨太方針」

まずは葛飾区から！
「葛飾区のSDGs」実現に繋がります
健康長寿の実現
切れ目ない子育て施策の推進



葛飾区歯科医師連盟HP
活動やご挨拶は
こちらから

katsushirenmei.com
(葛歯連盟ドットコム)




葛飾区歯科医師会の会員が支える 歯と口からの健康

歯周病を知ろう！編

こどもから高齢者まで
幅広い年齢層が安心して
生活ができるように
歯科事業の重要性を議会と共有し
区民のために実現していくことが
葛飾区歯科医師連盟の活動です

葛飾区歯科医師連盟は
区民のお口の健康増進のために
葛飾区歯科健診事業の拡充を
推進しています

 葛飾区歯科医師連盟

Since 1951

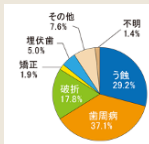
歯周病を知ろう!

本リーフレットは歯周病について正しい知識を身に付けていただきたいという意向で作りました。

Q&AでわかりやすくさらにQRコードでより詳しく解説しています。ぜひご活用ください。

Q.歯を失う主な原因第1位は?

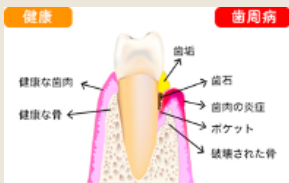
A. 1番の原因は歯周病とされています。歯を残すためには、歯周病の治療と予防することが大切です。



厚生労働省e-ヘルスネットより

Q.歯肉炎と歯周炎はどう違う?

A.歯周病は、歯肉炎と歯周炎、ふたつの総称です。歯肉炎は歯肉の炎症、歯周炎は骨まで炎症が波及し吸収している状態を指します。



左側は健康な状態、右側は歯周病の状態を表しています。日本臨床歯周病学会HPより

歯周病は歯を失う病気で、進行すると治りにくくなります。健診で早期発見しましょう!

- ・国民の8割が歯周病は本当?
- ・歯周病になりやすい人は? 詳しくはこちらから⇒

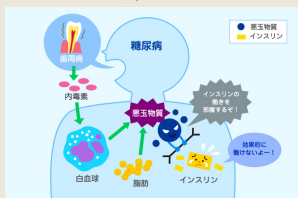


歯周病と糖尿病

糖尿病は約2000万人が罹患していると言われ糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症、神経障害の三大合併症に加え、心疾患と脳血管障害の5つが主な合併症とされています。歯周病は糖尿病の第6の合併症とされます。

Q.歯周病と糖尿病ってなぜ関係してるの?

A.歯周病も糖尿病も炎症の病気で、同じ炎症を起こす物質(サイトカイン)が関わっていることがわかっています。



テーマパーク8020より

Q.歯周病を治療すると糖尿病はよくなるの?

A.糖尿病は、喫煙とならび歯周病の2大リスクファクターであり、炎症の病気です。もちろん、医療機関での診断・治療が大原則となりますが、歯周病の治療を行うことで糖尿病の指標となる数値(HbA1c)の改善が報告されています。

糖尿病の方は歯周病の治療が大切です。重症化する前に、健診でしっかり把握!

- ・血糖値がさがらないインスリン抵抗性とは? 詳しくはこちらから⇒

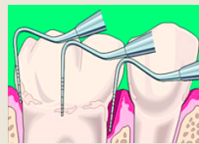


歯科健診のススメ

歯周病は、妊娠中かかりやすくなりまた出産に影響を及ぼす可能性があります。高齢者は歯を失うことで、オーラルフレイル(口腔機能の虚弱)状態となり様々な機能低下(老化)に繋がってきます。健診で早期発見して正しい対応をすることが重要です。

Q.歯周病検査は何をやっているの?

A.歯周病は、歯と歯肉の境目(歯周ポケット)の深さが診断項目の一つになります。4mmから歯周病と診断し、深くなるほど重症度があがります。



厚生労働省e-ヘルスネットより

Q.妊婦は歯周病になりやすい?

A.歯周病は女性ホルモンにかかわるため、女性の方がなりやすいとも言われています。妊娠中は女性ホルモンバランスの変化に加え、つわりで歯みがきができなくなるため、歯周病症状が出やすくなります。早産や低体重児出産との関わりも指摘されています。ぜひマタニティ歯科健診を受診しましょう。

マタニティ歯科健診の統計

※受診がR3年4月~R4年1月末まで

	R1年度	R2年度	R3年度
異常なし	12.4%	14.8%	16.5%
歯肉炎あり	51.1%	50.6%	49.1%
要歯周治療	11.6%	10.7%	9.6%
要う蝕治療(補綴治療含む)	41.9%	41.8%	40.1%

女性は歯周病になりやすいと言われていました。高齢者もフレイル(虚弱)に注意が必要です。

- ・オーラルフレイルってなに?
- ・健康寿命ってなに? 詳しくはこちらから⇒

